

「ワールドマスタースゲームズ2027関西大会

エントリーシステム構築及び保守運営業務」 委託仕様書

標記業務について、具体的仕様については下記のとおりとする。

1 業務名

「ワールドマスタースゲームズ2027関西大会エントリーシステム構築及び保守運営業務」（以下、「本業務」という。）

2 業務の目的

本業務は、2027 年に開催するワールドマスタースゲームズ 2027 関西大会（以下「本大会」という。）において、参加者等のエントリーを受け付けるためのフォームを作成し、各参加者のエントリー情報データを厳重に管理する。また、大会当日における大会受付時にはエントリー情報データをもとに ID 情報を容易に参照できる仕組みを有するなど、本大会がスムーズに運用できるよう補助するシステムの構築と保守運営を目的とする。

3 業務委託期間

システム構築については、契約締結日から令和 7 年 10 月 31 日までとする。

また、保守運営業務については同様に、令和 9 年 11 月 30 日までとする。

4 委託の範囲

本仕様書で求める要件及び機能を実現するためのシステムの開発、データセットアップ作業、本番大会を想定した動作確認のテストと研修及び保守運営を含むシステム稼働環境一式の提供までを委託の範囲とする。

(1) プロジェクト管理

- ① プロジェクト管理計画書の策定
- ② 進捗管理表の策定

(2) システム開発（プログラム設計（既存システムのカスタマイズ含む）、製作、単体

テスト)

- ① エントリーシステム（大会・競技・ボランティア）
- ② 事務局システム
- (3) 結合テスト及び総合テスト
- (4) データ初期設定
- (5) 運営操作マニュアル、取扱説明書作成
- (6) システム操作者への研修
- (7) システム保守・運用支援（利用者からの問い合わせへの対応（ヘルプデスク）機能を含む）
- (8) 大会運営支援（エントリーシステムへの問合せ対応）
- (9) 上記(1)～(8)の付帯作業

5 システムの概要

(1) システムの概要

本システムは、エントリーシステム、事務局システムから構成される。また、民間事業者が運営するインターネットデータセンターのクラウド基盤上でサービスを提供することも可能とし、インターネット回線を利用したシステム利用が可能なものとする。

国内外の参加者はPC、スマートフォン、タブレットからシステムにアクセスし、大会参加申し込みや情報参照を行う。なお、同時に複数者がアクセスできるものとする。

各システムには以下に分類する機能が含まれる。（各機能要件については、「7 構築・運用要件」に記載。）

	区 分	システム名	機 能
1	フロントシステム (閲覧者・参加者側)	エントリーシステム	大会エントリー機能
2			競技エントリー機能
3			マイページ機能
4	バックシステム (管理者側)	事務局システム	入金管理機能
5			各種帳票等公開機能
6			運営管理機能

(2) 対象競技

本システムで管理する競技は、下表のとおり。

競技・種目及び種別数 * 障がい者部門を含む。今後、変動する見込み。					
競技	種目	種別数	競技	種目	種別数
1 アーチェリー	01 アウトドア	8	20 ホート	35 ホート	11
	02インドア	8	21 ラグビーフットボール	36 ラグビーフットボール	10
2 陸上競技	03トラック&フィールド	91	22 セーリング	37 セーリング	6
	04 10kmロード	2		38 ウィンドサーフィン	6
	05 ハーフマラソン	2	23 射撃	39 クレー	10
	06 駅伝	3		40 ライフル	21
	07 競歩	4	24 ソフトボール	41 ソフトボール	15
3 バドミントン	08 バドミントン	4	25 ソフトテニス	42 ソフトテニス	6
4 野球	09 硬式野球	4	26 スカッシュ	43 スカッシュ	6
	10 軟式野球	6	27 水泳	44 競泳	34
5 バスケットボール	11 バスケットボール	48		45 飛込	9
6 カヌー	12 マラソン	45		46 水球	6
	13 スプリント	30		47 アーティスティックスイミング	10
	14 スラローム	7		48 オープンウォーター	24
	15 ホロ	5	28 卓球	49 卓球	16
	16 ドラゴンボート	4	29 テコンドー	50 テコンドー	10
7 自転車	17 トラック	12	30 テニス	51 テニス	27
	18 ロードレース	8	31 ホウリング	52 ホウリング	30
	19 MTB	7	32 トライアスロン	53 トライアスロン	14
	20 BMX	7		54 アクアスロン	4
8 ダンススポーツ	21 ダンススポーツ	22		55 デュアスロン	4
9 サッカー	22 サッカー	4	33 綱引	56 綱引	8
	23 フットサル	33	34 バレーボール	57 インドア	6
10 フライングディスク	24 アルティメット	2		58 ビーチ	24
11 ゲートボール	25 ゲートボール	1	35 ウェイトリフティング	59 ウェイトリフティング	2
12 ゴルフ	26 ゴルフ	10			
13 グラウンド・ゴルフ	27 グラウンド・ゴルフ	2			
14 ハンドボール	28 ハンドボール	6			
15 ホッケー	29 ホッケー	8			
16 柔道	30 柔道	8			
17 空手道	31 空手道	4			
18 ライフセービング	32 ライフセービング	28			
19 オリエンテーリング	33 スプリント	1			
	34 フォレスト	1			

(3) システム利用者の想定

本システムを利用する者の想定は、以下のとおり。

No	利用者種別	想定利用者数	備考
1	国内・国外参加者	50,000人	IDカード発行あり
2	国内・国外同伴者	5,000人	IDカード発行あり
3	大会総合本部	40人	本システムにおける操作権限を保持し、 全エントリー者の情報の閲覧が可能。
4	実行委員会総合本部	250人	一部のエントリー者情報の閲覧が可能
5	競技会場本部	1,000人	一部のエントリー者情報の閲覧が可能
6	大会情報閲覧者	100,000人	公開サイト情報の閲覧のみ可能

(4) 多言語対応

以下の機能ごとに多言語対応すること。（記載の対応言語は必須とし、このほかに対応可能な言語がある場合には、追加提案すること。）

No	機能名	対応言語
1	大会エントリー機能	日・英
2	競技エントリー機能	日・英
3	マイページ機能	日・英
4	入金管理機能	日
5	各種帳票等公開機能	日
6	運営管理機能	日

(5) システム使用デバイス

機能ごとの使用デバイスは、下表のとおり。

No	機能名	使用デバイス
1	大会エントリー機能	PC・タブレット・スマートフォン
2	競技エントリー機能	PC・タブレット・スマートフォン
3	マイページ機能	PC・タブレット・スマートフォン
4	入金管理機能	PC
5	各種帳票等公開機能	PC
6	運営管理機能	PC・タブレット

6 スケジュール

業務委託期間中のスケジュールを、次の区分に分けて提示すること。

- ① システムの構築及び動作確認テスト・研修までのスケジュール
- ② 運用・保守期間中の運営サポートのためのスケジュール

なお、大会運営に関する主なスケジュールは以下のとおり。

参加規約等の公開	・・・・・・・・・・	令和7年11月
エントリーの受付期間（競技者・関係者）	・	令和8年3月～令和9年2月末
同 上	（サポーター）・・・	令和8年3月～令和9年4月末
認証センター（大会受付）開設期間	・・・・・・・・	令和9年5月10日
競技の開催期間	・・・・・・・・・・	令和9年5月14日～5月30日
開会式	・・・・・・・・・・	令和9年5月中旬
閉会式	・・・・・・・・・・	令和9年5月下旬
大会ヘルプデスク開設期間	・・・・・・・・・・	令和7年11月～令和9年6月
（メール対応期間：令和7年11月～令和9年10月）		

7 構築・運用要件

(1) 基本的考え方

- ① 多くの人が閲覧するフロントシステムは、組織委員会が別途運営する大会公式ホームページとデザインを合わせ、閲覧者に違和感を抱かせることのないようにすること。また、年齢・性別・国籍・障がいの有無等に関わらず、誰もがわかりやすく利用しやすいシステムを構築すること。既存システムをカスタマイズし、開発する場合についても同じこととする。
- ② バックシステムは、専門的な知識が乏しい職員でも操作が容易でわかりやすいシステム設計に努めること。また、大会および競技エントリー時登録された情報を大会運営における各種業務にて連携することを想定し拡張性を考慮すること。
- ③ 本仕様書が求める機能及び受託しようとする事業者が追加して提案する機能を充足することを前提として、業務フローの一部を電子的処理によらず人為的方法により処理の方が効果的、経済的と考える場合には、適宜、人為的処理フローも組み入れて提案すること。

(2) 各機能の要件

備えるべき各機能は、今後、大会準備の進行に伴い変動していくことが予想されるが、本仕様書により求める各機能は、以下のとおりとする。

① 大会エントリー機能

選手及び同伴者のエントリー受付を行う。（参考：本大会の参加者は選手 5 万人、同伴者登録は 5 千人程度を想定。）すべての登録者に対し、個人ナンバー、マイページ用 ID（個人ナンバーと併用可）、パスワードを発行し、マイページを付与する。（マイページ機能詳細はマイページ機能に記載）

登録する項目は、氏名・性別・生年月日・国籍・住所・電話番号・メールアドレス、顔写真、緊急連絡先、その他とする。画像や PDF 等のファイルアップロードが必要になる項目も想定すること。

② 競技エントリー機能

組織委員会が定める競技要項に基づきエントリー項目をシステムに組み込むこと。入力項目には画像や PDF 等のファイルアップロードが必要になる場合も想定すること。選手は競技種目を選択後、入金作業を行うものとし（競技種目により、追加料金が発生する場合あり。）、団体競技は個人支払と代表者一括支払いのどちらかを選択できるものとする。選手はエントリー期間中であれば複数の競技にエントリーできるものとし、多様な料金設定・登録変更柔軟な設計とすること。

③ マイページ機能

マイページ機能については、以下に掲げる機能を含め、他にも有益と思われる機能を追加して提案すること。

No	機 能	説 明
1	エントリー状況の確認	自身、団体競技におけるチームメンバーの状況の確認
2	ID情報の表示	大会受付時等に利用する自身のエントリー情報の表示（ID・QR等）
3	決済履歴の確認	
4	領収書の発行	PDF 形式
5	各種会員情報の変更	一部の会員情報変更とパスワードの変更・再発行が可能 (パスワード忘却者のための再発行機能含む)

6	各種通知機能	競技組合せ情報、競技記録結果のアップ情報、大会からの各種情報等を通知させる。（今後、アプリ等の連携も視野にいて拡張性のある機能とすること）
---	--------	---

④ 入金管理機能

組織委員会で決定する参加料金を設定すること。また、競技種目の特性や参加者自身が選択するオプションを追加することによる料金変動にも対応すること。また、本大会では参加者のキャンセル対応も検討していることから、キャンセル発生時は、各エントリー機能においても情報を連携させ対応することが可能なものとする。

決済手段の条件は以下のとおりとし、入金者と参加者を確実に紐づける機能を有すること。

No	参加者種別	決済手段
1	国内参加者	クレジットカード（必須）、コンビニ決済（必須）、pay-easy、PayPal
2	国外参加者	クレジットカード（必須）、pay-easy、PayPal

団体競技の入金については、個人支払と代表者一括支払を選択できることとする。決済処理は、決済代行サービス会社が提供するシステムとの連携を可能にすること。ただし、決済代行サービス会社選定にあたっては、組織委員会と協議し、承認を得ることとする。決済画面ページは日本語（必須）、英語（必須）、中国語（簡・繁）表示があることを条件とする。また、クレジットカードは下記 5 社が利用できること。

「VISA」、「Master Card」、「JCB」、「American Express」、「Diners Club」

⑤ 各種帳票等公開機能

本システムと大会公式ホームページを連携する必要がある場合は、三者（組織委員会、大会公式ホームページ作成業者、本業務受託者）により、協議を行い、構築を進めていく。

※各種帳票・・・競技関連資料、競技組み合わせ表、競技記録結果等

⑥ 運営管理機能

運営管理機能として本仕様書では以下のとおり機能を分類した。受託者は下記以外にも運用に際して有益となる機能・運用方法の提案を行うこと。また、組織委員会と協議のうえ新たな機能を追加すること。

No	機 能	概 要	説 明	操作権限保持者
1	大会エントリー機能	エントリー状況確認（アカウント管理）	・参加者のエントリー状況（入金関連情報を除く。）を確認できること ・参加者を各種条件で検索可能なこと ・一覧表、個別表示でデータ出力できること（一覧表は各種条件において並べ替えが可能なこと。罫線等でレイアウトを整えた PDF 帳票も出力できること） ・参加者の登録内容について変更、削除ができること	組織委員会
2	競技エントリー機能	操作権限の付与	・システム利用者（組織委員会及び実行委員会、その他両委員会認めた者）に対して、ID・パスを発行し、操作権限の付与ができること	組織委員会
		競技エントリー状況の確認	・競技ページ（権限付与された）のエントリー者情報の閲覧が可能なこと。（入金関連情報については閲覧不可） ・競技エントリー状況を一覧表、個別表示で確認・データ出力ができること （一覧表は各種条件において並べ替えが可能なこと。罫線等でレイアウトを整えた PDF 帳票も出力できること） ・団体競技のチームメンバーの変更ができること	組織委員会 実行委員会 開催地市町村
3	マイページ機能	各種お知らせ配信機能	・対象者を選択してメールマガジンや各種通知が配信できること	組織委員会
4	その他	マスタ管理	・各種マスタの登録・変更・削除ができること	組織委員会

⑦ ヘルプデスク機能

本エントリーシステムの運用期間中、利用者からの問い合わせに対し、サポートできる仕組み（人的対応体制を含む）を講じること。その際、サポートする内容及び方法等についても提案すること。

⑧ その他

ア 必要に応じてエントリー入力項目には条件を設定しエラーチェック機能を搭載すること。（例：性別を男性で入力したが、女性種目にエントリーした場合など）

イ 観光情報、宿泊、その他業務との連動など有益な機能及びコンテンツ等を具体的に提案すること。

ウ 今後、組織委員会ではなく実行委員会が運営主体となるデモンストレーション競技大会における競技エントリーにおいても本システムを利用する可能性があることから、拡張性を持たせ安価でカスタマイズができることとする。当該契約においては別途、対象実行委員会と行う。

エ 本業務実施に不可分な構成要素があれば、その旨を企画提案書に記述し、本業務の入札価格に含めること。

(3) その他の要件

① データセンター

本システムにおけるデータセンターは、日本国内にあることを前提とし、耐震・耐火設備を備えており、情報システムが安定して稼働できる環境であること。JIS Q 27001 又は ISO/IEC 27001 に基づく認証を取得していることを前提に、外部からの侵入者によって本大会の個人情報データ等が危険に晒されることのないよう安全なセキュリティ対策が講じられていること。また、組織委員会よりサーバー室内における監視カメラによる記録データや入退室履歴の閲覧を求めたときは、閲覧が可能なこととする。

利用期間については、スケジュールのとおり組織委員会に提案し、承認を受けることにより決定する。

② ネットワーク

本業務で求めるデータセンターのインターネット回線は、100Mbps 以上とする。

③ ウェブアクセシビリティ

本システムを利用するすべての人が、心身の条件や利用する環境に関係なく本システムでの情報や機能に支障なくアクセスし、利用できることを目指す。

④ セキュリティ対策

ア 本業務の実施過程で知り得た機密情報（大会エントリーの個人情報含む）は以下に留意し十分な漏えい・流出対策、バックアップ対策等のセキュリティ対策が講じられること。また、Web サイトへの悪意に基づく侵入行為や画面の改ざん攻撃への対策が講じられること。

イ 個人情報及び機密情報が関連するページにおけるシステムの通信はすべて SSL 暗号化通信とすること。

ウ 情報セキュリティ製品・システム評価基準（ISO/IEC15408）や情報セキュリティマネジメントシステムの認証基準（ISO/IEC27001）を採用し、参加者等より取得した情報が流出することが無いよう適切な措置を施すこと。

エ ユーザー（マイページ保持者及びバックシステム操作者）は個々のパスワードが設定できること。また、パスワード変更が容易に行えること。

オ ログインに複数回失敗した場合、入力をロックする機能を有すること。

カ オペレーティングシステム等の脆弱性情報に注意し、セキュリティパッチが公開された際は、速やかに動作確認を行った上で適用すること。

キ Web アプリケーションを利用する場合、外部からの侵入を防止しプログラムデータ等の改ざんを防ぐこと。

ク 機器に障害が生じた場合でも復旧可能となるバックアップ対策を講じること。

ケ 大会当日における受付で使用する各機器についても、適切なセキュリティ対策を講じること。

8 運営サポート

(1) 動作確認テスト

エントリー期間中・大会期間中にトラブル無く円滑に運営できるよう各機能の動作確認テストを行うこと。当該業務にかかる費用は全て受託者の負担とする。

(2) システム保守・運営支援体制

<システム保守>

- ① システム不具合の際に、プログラムの修正及びリリースを行うこと。
- ② システムのバージョンアップを行った場合はリリースを行い、受託者が必ず動作確認をすること。
- ③ 制度改正・規則改正等の変更が生じた際は速やかに組織委員会指示のもと対応すること。

- ④ システムの機能拡充やデータ追加に対応するため、組織委員会からの指示に基づきソフトウェアの保守・改良を実施すること。なお、保守作業のうち、大規模な改修業務が発生する場合は、組織委員会と別途協議の上決定すること。
- ⑤ システムメンテナンス等で一時的にシステムを停止する場合については、組織委員会との協議により頻度・時刻を決定する。

<運用支援体制>

- ① エントリー期間中は、組織委員会の大会ヘルプデスクと連携をとり、利用者からの問合せ（「7 構築・運用要件」「(2)各機能の要件」「⑦ ヘルプデスク機能」の項で提案するサポートの内容に対応するもの。）について随時対応すること。対応時間はヘルプデスク開設時間に準じることとする。
- ② 組織委員会からの電話や電子メールでの問合せについて一元的な窓口を決め、迅速に対応を行うこと。障害発生時や緊急時等は組織委員会以外の者（実行委員会職員、開催地市町村職員及びその他組織委員会が認める者）からの問合せにも対応すること。当該事案の発生後には事後報告とし組織委員会にもその旨を報告すること。
- ③ 障害発生時や緊急時等における対応方法（夜間を含む復旧作業に取り掛かれるまでの時間、復旧に要する時間等）及びエントリー期間中のサポート体制図を組織委員会に提出し承認を得ること。

(3) 研修

本システムの操作研修を下記のとおり実施すること。操作研修時には、研修用のテキストを受託者側で用意すること。なお、操作研修会に必要な機材、会場は組織委員会側にて提供する。なお、下記は実施例であり、今後、組織委員会又は組織委員会から指示を受けた業者との協議により研修を実施すること。

<システム研修の例>

1	研修名	システム運用者向け操作研修
2	対象者	約150名：システム運用操作者（組織委員会職員・実行委員会職員、その他）
3	研修内容	システム全般（参加者エントリー操作、事務局側運営操作、当日受付システム操作についての説明、その他）
4	研修回数	5回（半日程度） 1回/30名
5	備考	研修を受けた者（組織委員会職員・実行委員会職員、その他）からのシステムに関する質問等に随時対応すること。

(4) 大会運営支援

本番大会期間中、組織委員会本部にはイレギュラー事案、システム関連の問合せに対応可能なスタッフを常駐させること。（常駐場所については両者の協議の上で決定する。）詳細については、今後、組織委員会又は組織委員会から指示を受けた業者による指示に従うこと。

また、障害発生時や緊急時における対応方法（夜間を含む復旧作業に取り掛かれるまでの時間、復旧に要する時間等）及び大会期間中のサポート体制図を組織委員会に提出し、承認を得ること。

9 納入

- (1) 受託者は、本システムの開発（操作説明会を含む）を完了させ、システム環境構築を行う。セットアップ完了日は令和7年10月31日（金）とする。
- (2) 各種文書については、契約締結以降、構築段階に応じて適宜納入すること。
- (3) 紙のサイズはA4を原則とする。図表については、A4版横又はA3版（A4版の大きさに折り込むこと）とすることも可とする。
- (4) 電子媒体は、CD-ROM等とする。文書データは、Microsoft Office2016以降で扱える形式及びPDFで収録することとし、データ作成において特殊なツールを使用する場合は、当該ファイルを閲覧するためのツール1セット（使用権と導入用メディア）を併せて納入すること。
- (5) 各種納品物納期については、組織委員会と協議において全体スケジュールを考慮しながら決定することとする。
- (6) 納入物は以下のとおりとする。

- ① 業務報告書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1部
- ② プロジェクト計画書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1部
- ③ プロジェクト管理進捗報告書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1部
- ④ システム基本設計書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1部
- ⑤ システム詳細設計書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1部
- ⑥ エントリーシステム操作説明書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1部
- ⑦ 事務局システム操作説明書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1部
- ⑧ エントリーシステム・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1部

- ⑨ 事務局システム 1 部
- ⑩ システム運用実証（動作確認テスト含む）計画書・報告書 1 部
- ⑪ その他業務にて収集した資料・データ 1 部

10 特記事項

(1) 再委託

受託者は本業務を第三者に委託する場合は、事前に再委託する業務、再委託先、その理由、管理体制及びその他組織委員会が指示する事項を記載した再委託届出書を提出し、組織委員会からの承認を得ること。また、再委託をする場合においても、その最終的な責任は受託者が負うこととする。

(2) システム構築環境

本システム構築に必要となる開発環境の保有、整備などに関する考え方を以下に示す。なお、システム構築環境全般において、情報セキュリティの確保を行い、情報漏えい、紛失等のセキュリティ事故の防止に努めること。

<開発環境>

システム構築に必要となるハードウェア・ソフトウェア等の開発環境については、原則受託者の責任において日本国内にて準備すること。ただし、検証工程における検証環境は、組織委員会と受託者が協議の上、組織委員会が所有する機器・ネットワーク等を用いて検証作業を実施することも可能とする。

<テストデータの準備>

システム構築に必要となるテストデータは原則、受託者の責任において準備すること。

(3) 瑕疵担保責任

契約書に定める期間内において、納入したシステムに瑕疵の疑いが生じた場合は、組織委員会が必要と認める場合には、受託者は速やかに不備の内容に関して調査し、回答すること。調査の結果、納入したシステムに関して瑕疵等が認められる場合には、受託者の責任及び負担において速やかに修正を行うこと。なお、修正を実施する場合においては、修正方法等について、事前に組織委員会の承認を得てから着手するとともに、修正結果について組織委員会の確認を受けること。

(4) 知的財産権

- ① 本業務で新たに開発されたもの（パッケージのカスタマイズ部分を含む）の著作権は原則組織委員会に帰属することとする。ただし、特段の事情があるとき

は、組織委員会の承認を得て、有償又は無償により受託者に帰属させることがある。また、著作権人格権については、これを行使しないこととし、再委託による開発があった場合についても同様とする。

- ② 本システムの稼働に必要なソフトウェアのライセンス（使用权）取得にかかる費用は、すべて本業務に含まれるものとする。
- ③ 本システムの稼働に必要なソフトウェアのライセンス（使用权）は、契約期間終了後、組織委員会に帰属するものとする。
- ④ 受託者が以前より有していた成果物（従前から有していた成果物を改変したものを含む）の著作権は、受託者に帰属するものとする。この場合は、当該成果物についての使用权は、組織委員会が本システムを使用するために必要な範囲を無償で許諾するものとする。
- ⑤ 組織委員会が本システムを運用するにあたり、受託者は、受託者が保有する知的財産権に基づいて、組織委員会に対して、自ら権利侵害であるとの主張をせず、また、再委託先に権利侵害の主張をさせないことを保証するものとする。
- ⑥ 受託者は、特許権、著作権等の知的財産権の対象となっている第三者の技術等を使用するときは、その仕様に関する一切の責任を負うこととする。また、それに係る費用についても受託者が負担すること。

(5) 機密保持

本業務の実施過程で知り得た機密情報（大会エントリーの個人情報含む）、組織委員会が開示した情報、その他機密情報について知り得た情報及び組織委員会が作成した情報を、本業務の目的以外に使用、第三者に開示もしくは漏えいしてはならないものとする。また、そのための必要な措置を講じること。

(6) 個人情報保護

大会にて収集した参加者・同伴者及びその他の個人情報は、大会終了後に International Masters Games Association (IMGA) に帰属するものである。大会終了後には生涯スポーツの発展と文化・観光における地域創生にあたりと組織委員会が認める場合のみ、自治体などの公的機関に引き継ぎ、厳格な管理体制のもとで管理することとし、受託者がこの情報を利用することは一切認めない。

(7) 本業務終了後の扱い

本業務の契約が終了した際には、収集した参加者等の個人情報を組織委員会が別途指定する方法により提供すること。提供終了後は当該情報を全て削除すること。

(8) その他

- ① 本業務（本プロポーザルへの参加に関する事務及び関係文書の作成、これらに関する組織委員会への問合せと回答、契約締結事務及び契約の履行に関する一切の業務をいう。）にかかる協議等は日本語で行い、資料等も日本語で記載すること。（本仕様書に特別の定めがある場合及び組織委員会が特に認めた場合を除く。）
- ② 業務の実施にあたっては、組織委員会と十分に協議・調整を行うとともに組織委員会が必要と認め、指示した事項については、その指示に従うこと。また、本仕様書に定めない事項については、組織委員会と協議するものとする。
- ③ 本業務における契約方法（支払い方法含む）については、受託者が正式に決定次第、組織委員会と協議し決定するものとする。
- ④ 受託者は、本仕様書に明示されていない事項で本業務の実施に必要と認められる作業は、組織委員会に報告の上、受託者の責任及び費用負担において実施すること。
- ⑤ 業務の遂行中に既存の建物、施設、設備等に損傷を与えた場合は直ちに組織委員会に報告するとともに、受託者の責任及び費用負担において速やかに修復すること。